

安全確保に必要な防犯灯

横浜市会議員 伏見ゆきえ

戸塚駅東口周辺で
交通社会実験

があれば市民局へご連絡ください。

令和4年第3回市会定例会が10月14日まで開かれました。市民局関係の決算第二特別委員会で、私は「鋼管ポール防犯灯の老朽化対策」について市民局に質問しました。市が防犯灯のLED化を進めるにあたり、自治会町内会から移管を受けた鋼管ポールタイプの防犯灯、約1万6000灯の中には、設置から数十年以上が経過し、老朽化が進むものがあります。令和3年度に緊急雇用

を創出事業として鋼管ポール防犯灯の外観調査が実施されました。市民局長はこれを受け、「早期に対応が必要な鋼管ポール900本は今年度から順次、計画的に建て替える。また倒壊の恐れがある緊急度の高い100本のポールは今年度中に対応する」と回答しました。地域からの通報も活用し、市民の安全を確保するため臨機応変に対応するそうです。同様に、以前から朝夕のラッシュ時に混雑する上倉田交差点についても調査が必要であると、地元からの声を受け市に要望しているところです。



伏見ゆきえ

1968年川崎生まれ横浜育ち。私立橋女子高卒業後、産科医院、サクルトレジャーなどを経て2015年に横浜市会議員初当選。現在2期目。

連絡事務所 / 〒244-0816 戸塚区上倉田町390-1表ビル1-B ☎045・443・5757 / ☎045・443・5671 / Facebookで日々の活動更新中!

皆さんも防犯灯についてなにか気が付いたこと